

トピックス編

1 表彰

知事表彰（令和2年2月7日）

【永年勤続表彰】

- ・30年表彰 ①星野 健司 ②糸井 正枝 ③平澤 明子 ④岡野 則子
 ⑤矢澤 早苗 ⑥海上 加代子 ⑦大沢 正子 ⑧株崎 雅子

- ・20年表彰 ①田原 美奈子 ②野口 京子 ③加藤 希 ④五十嵐 美和
 ⑤工藤 幸代 ⑥田中 学 ⑦康 勝好 ⑧野村 耕司
 ⑨長谷川 千晶 ⑩濱屋 和泉 ⑪会津 克哉

2 ボランティア活動

（1）病院承認ボランティア

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
病院ボランティアの会	2017年	患者・家族の案内、園芸、裁縫、等	月～金曜日：外来、病棟等
カリヨン文庫	1986年	本の読み聞かせ	毎週木曜日：病棟
EE-Heart	2000年	難聴ベビー外来での保育	第4火曜午前：3階発達診断室
ホスピタル・クラウン	2012年	クラウンの病棟訪問	月2回：病棟
セラピードッグ	2013年	セラピー犬による病棟訪問	月1回：病棟

（2）外部団体によるイベント

ボランティア名	活動日	活動内容
ブロックはかせのブロック EXPO in 埼玉県立小児医療センター	令和元年8月2日（金）	ブロックはかせによる、外来エリアでのブロックあそび。
科学ママの実験ショー (NPO 法人スマイリングホスピタルジャパン)	令和元年8月30日（金）	色水や空気を使った実験ショー。
絵本カーニバル	令和元年10月8日（火） ～10月15日（火）	外来プレイルームに絵本の展示。病棟でのワークショップ。
ドナルド・マクドナルドの病院訪問	令和元年10月25日（金）	ドナルド君が病棟を訪問。トーク、写真撮影、プレゼントの配布
ブロックはかせの出張 LABO みんなで作ろう、ぼくらの新都心	令和元年11月5日（火）	ブロックはかせによる、病棟の子どもたち向けのワークショップ。
くちぶえコンサート	令和元年11月26日（火）	外来での、口笛・ピアノ・ヴァイオリン・ファゴットのコンサート。
青い目のサンタクロース病院訪問	令和元年12月10日（火）	外来、病棟をサンタが訪問し、プレゼントを配付。
人形劇団のはな公演	令和2年1月28日（火）	外来・病棟向けの人形劇公演。
ストリングラフィ・アンサンブルコンサート	令和2年2月6日（木）	オリジナル楽器「ストリングラフィ」のコンサート。

3 「養護の会」各種イベント

6月下旬～7月7日 「七夕飾り」

7月下旬～8月中 「夏祭り」

12月中 「クリスマスツリーの飾り作り、飾り付け」

患児、看護師、保育士でクリスマスツリーの飾り作り、飾り付けを行う。

「病棟クリスマス会」

これらの事業は、長期入院などで外に出ることのできない子ども達の生活に潤いを与えたいと、医療スタッフや職員からなる「養護の会」が企画、協力したものである。

4 院内保育

(1) こども広場

院内保育室は、令和元年度で19年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院又は通院している患児者の兄弟姉妹であり、2歳6ヶ月から6歳までの未就学児である。

対象外保育として、1歳から2歳5ヶ月以下のお子さんや小学生は病棟から対象外依頼書を発行し、保育可能の了承があった場合のみ保育を行っている。

平成30年10月より、外来患者の兄弟姉妹を対象とした保育も行っている。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕など季節の行事には、飾りつけの製作を行っている。

特にクリスマス会は、年に一度の行事として位置づけ、歌を歌ったり、毎年、保育士による出し物やゲームを楽しみ、手作りおもちゃをプレゼントし、好評を得ている。

利用者の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人 数	848人	703人	915人	713人	690人

令和元年度利用者の月齢構成

年 齢	人 数	構 成 率
2歳6ヶ月未満	120人	17%
2歳6ヶ月～2歳11ヶ月	195	28
3歳	159	23
4歳	94	14
5歳	53	8
6歳	7	1
就学児	10	1
外 来	52	8
計	690	100

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日に開設した。また、移転に伴い、平成29年1月には、新病院内に隣接するさいたま赤十字病院と共用する保育施設をオープンした。保育対象の子供は産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時（前後に各1時間の延長あり）まで、定員は50名（各病院25名）、保育園の運営は民間業者に委託で行った。

平成30年度は、1年間で医師10名、看護師10名、コメディカル4名の計26名が、令和元年度は、1年間で医師8名、看護師9名、コメディカル1名の計21名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回（月、水、金）行っている。

埼玉県立小児医療センター歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The image shows a musical score for a song. It consists of eight systems of music, each with a vocal line (treble clef) and a piano accompaniment (bass clef). The lyrics are written below the vocal line. The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings like 'f' and 'V'.

埼玉県立 小児医療センター歌

さんぼくたけし

若葉萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともす
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児医療センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詩、作曲された)